

1. サービス概要

「IDCF クラウド クラウドストレージサービス」（以下、本サービス）は、容量無制限のスケラビリティと高い耐障害性に加え、リーズナブルな価格で利用可能なクラウドストレージサービスです。

基盤として Google が運営するクラウドプラットフォームである Google Cloud Platform のストレージサービスである Google Cloud Storage を採用しています。安全で耐久性の高い Google Cloud Storage を、IDCF クラウドのシンプルな UI から利用することができます。

Google Cloud Storage と同価格でご利用いただくことができ、他の I D C F クラウドと同様に円で一元化して扱うことができます。サービスのお問い合わせについても、I D C F クラウドと同じ窓口へ日本語で 24 時間お問い合わせいただくことが可能です。

1.1. 用語の定義

用語	定義
コンピューティングサービス	IDCF クラウドの仮想マシンを提供するサービスを指します (https://www.idcf.jp/cloud/)
オブジェクトストレージ	データをオブジェクト単位で扱うストレージのアーキテクチャーです。
Google Cloud Platform (GCP)	Google が提供するクラウドプラットフォームおよびサービスの総称です。
Google Cloud Storage (GCS)	Google Cloud Platform のストレージサービスの一つで、クラウド型のオブジェクトストレージを提供しています。(https://cloud.google.com/storage/) 本サービスの基盤として採用されています。
Google Cloud CDN	Google Cloud Platform の CDN サービスを指します。
CDN インターコネクト	GCP と提携する CDN プロバイダを相互接続することで、トラフィックの最適化及び特別な料金を適用するサービスです。(https://cloud.google.com/interconnect/docs/how-to/cdn-interconnect)
Google アカウント	Google のサービスにアクセスするためのアカウントで、本サービスを利用するために必要となります。IDC フロンティアが管理する Google アカウントを発行できる他、既存の Google アカウントを本サービスに紐づけることも可能となっています。
サービスアカウント	お客様のアカウントではなく、アプリケーションが使用する特別なアカウントになります。
サービスアカウントキー	サービスアカウントにおいて、他のサービス、アプリケーションとのアクセス認証を行うための文字列になります。
アクセスキー	API 識別情報として利用する文字列になります。S3 互換 API 等を利用してクラウドストレージを利用するときに使います。
シークレットキー	API 認証情報として利用する文字列になります。S3 互換 API 等を利用してクラウドストレージを利用するときに使います。
リージョン	サービスを提供する特定の地理的な場所を指します。

	本サービスにおけるリージョンは、IDCF クラウドのリージョンではなく、Google Cloud Storage の定める定義にしたがいます。
ロケーション	地理的な場所を指します。
プロジェクト ID	本サービスを有効化した際に、IDCF クラウドのアカウント毎に割り当てられる Google Cloud Platform の ID になります。
メタデータ	オブジェクトのプロパティとして付加できる情報です。編集可能なメタデータ等、詳細については下記 URL を参照ください。 (https://cloud.google.com/storage/docs/metadata)

1.2. 提供機能

基本機能としてバケットを作成してデータを格納します。バケットの作成時に、全世界で一意的な名前(基盤である Google Cloud Storage も含みます)、バケットとそのコンテンツを保存するロケーション、バケットに追加するオブジェクトのデフォルトのストレージクラスを指定します。

IDCF クラウドコンソールでは、下記ロケーションおよびストレージクラスの一部をご利用いただけます。

タイプ	項目	内容
ロケーション ^{*1} ・ストレージクラス ^{*2}	Multi-Regional	地理的な冗長性と高い可用性をもつストレージクラスです。地理的に異なるロケーションにデータを保存し、冗長性を維持しています。
	Regional	特定のロケーションにデータを保存します。大量のデータ処理を行う場合は Multi-Regional にデータを保存するよりも高いパフォーマンスが期待できます。
	Nearline	低コストで保存期間の長いストレージクラスで、頻繁にアクセスされないデータの保存に適しています。読み取りまたは変更を月に 1 回程度しか行わないデータに適しています。
	Coldline	Nearline より保存期間が長く、保存コストが安いストレージクラスです。年に 1 回程度しかアクセスしないデータに最適です。
	Archive	Coldline よりさらに保存期間が長く、保存コストが非常に安いストレージクラスです。年 1 回未満しかアクセスしないデータに最適です。

*1: ロケーションの詳細 (<https://cloud.google.com/storage/docs/locations>)

*2: ストレージクラスの詳細 (<https://cloud.google.com/storage/docs/storage-classes>)

1.3. 料金

1.3.1. 料金体系

本サービスは、以下の各種コンポーネントに対して月額従量料金が発生します。本サービスは、初期費用が発生しません。各種項目の利用量算出方法については、基盤である Google Cloud Storage のポリシーに従います。^{*1} 算出した利用量に対して本サービスで定義された料金単価を計算したものが利用料金となります。各種料金は米ドルで設定されておりますが、請求については当社で定められたレートによる円請求となります。

項目	内容
ストレージ	ストレージにデータを保存する時点で適用されます。
ネットワーク	データがバケットから読み取られると、ネットワーク課金が適用されます。これには、他のロケーションのクラウドストレージバケットや別のサービスへのデータのコピーや転送が含まれます。
オペレーション	本サービスでオペレーションを実行すると、オペレーション料金が発生します。オペレーションとはバケットやオブジェクトに関する情報を変更または取得する操作です。 オペレーションは、クラス A、クラス B、無料の 3 つのカテゴリに分類されます。どのクラスにどのオペレーションが該当するかの内訳は、下記 URL の表をご覧ください。 (https://cloud.google.com/storage/pricing?hl=ja#operations-by-class)
取得	Nearline、Coldline、Archive に保存されているデータとメタデータにアクセスする際に適用されます。
早期削除	Nearline、Coldline、Archive のデータは保存期間に達する前にファイルを削除することはできませんが、ファイルが最小期間保存された場合と同じ金額が請求されます。上書きと移動も早期削除に含まれます。

*1: 利用量算出ロジック等 (<https://cloud.google.com/storage/pricing#storage-notes>)

1.3.2. 無料枠

本サービスでは、お客様が既定値まで無料で使用できるリソースが提供されます。この無料枠は、東京ロケーションの Regional ストレージおよびアジアへのダウンロードに適用されます。使用量が既定値に達した場合は、無料枠の適用が解除され、通常と同様（ストレージであれば 10GB）の料金が適用されます。

項目	1ヶ月あたりの無料枠
ストレージ	10 GB ※ストレージクラス Regional かつロケーションが東京のみ
ネットワーク	ダウンロード（アジア）：10 GB *1 CDN インターコネクト、Peer へのトラフィック（アジア、同一ロケーション）：10 GB
クラス A オペレーション	5,000 オペレーション ※ストレージクラス Regional のみ
クラス B オペレーション	50,000 オペレーション ※ストレージクラス Regional のみ

*1:ダウンロードにおける無料枠は 5GB に変更となる予定です。

なお、本サービスをご利用いただく Google アカウントには、Google 社が提供する GCP の無償プログラム AlwaysFree は適用されません。（参考 URL: <https://cloud.google.com/storage/pricing?hl=ja#cloud-storage-always-free>）

1.3.3. 課金サイクル

本サービスにおいて、請求日はサービス利用月の翌々月となりますのでご注意ください。なお、クラウドコンソール上で前月の利用量および

請求予定額を確認することが可能です。料金は米ドルで設定されておりますが、請求については日本円で行います。*1

項目	内容	
請求サイクル	■従量タイプ 毎月 1 日から末日までの期間の利用状況に応じたサービス料金を請求します。	
請求日	クレジットカード	クレジットカード発行会社の規定に従います*2
	銀行振込	利用月の翌々月 10 日
	口座振替	

*1: 為替レートについては、ご利用した月の当社が定める国内大手銀行のレートで計算しております。

*2: 翌々月 1 日～10 日の間に発行会社へ請求します。

1.3.4. 連携サービスに向けた IDCF クラウドからの転送料金（IDCF クラウドでの課金について）

IDCF クラウドから仮想ルーターを経由した Google の API エンドポイント向け通信について、IDCF の定めた計測法で確認された通信に限り無料とします。無料となる対象の通信は仮想ルーターの無料枠(3240GB)とは別枠になります。

クラウドストレージに関する API エンドポイント*1

項目	内容
全体	www.googleapis.com
クラウドストレージ	storage.googleapis.com

*1: 計測対象の API エンドポイントは、今後追加される可能性があります。

1.3.5. ストレージ

バケットへ格納したデータ容量に対して料金が発生します。

料金の詳細は、<https://cloud.google.com/storage/pricing?hl=ja#storage-pricing> を参照ください。

1.3.6. ネットワーク

バケットへ格納したデータの移動に対して料金が発生します。

料金の詳細は、<https://cloud.google.com/storage/pricing?hl=ja#network-pricing> を参照ください。

タイプ	項目	内容
ネットワーク	クラウドストレージ内	クラウドストレージ内部のデータ移動をする時に適用される項目です。
	ダウンロード	クラウドストレージ内部からお客様のローカル環境や、他サービスのネットワーク等、外部へデータを移動する時に適用される項目です。*1
	キャッシュフィル	クラウドストレージ内部から GoogleCDN サービスへデータを移動する時に適用される項目です。
	CDN インターコネクト & Peer ネットワーク	クラウドストレージ内部から Google と連携している CDN サービス、もしくは Google と Peer 接続しているネットワークへデータを移動する時に適用される項目です。

*1: IDCF クラウド、コンテンツキャッシュ等への移動について、基本的には外部への「ダウンロード」にあたりますが、経路により「CDN イン

ターコネクト & Peer ネットワーク」が適用されることがあります。

[Google Cloud CDN へのキャッシュフィル]

Google Cloud CDN の Origin として GCP のサービスを設定する場合に、Google のエッジネットワークから Google Cloud CDN へのトラフィックに対してかかる転送料金です。

料金の詳細は、<https://cloud.google.com/cdn/pricing?hl=ja#cache-fill> を参照ください。

[CDN インターコネクト*1、Peer へのトラフィック]

CDN インターコネクトもしくは Google Cloud Storage と Peer で接続されたプロバイダ向けの転送料金です。

料金の詳細は、<https://cloud.google.com/network-connectivity/docs/cdn-interconnect?hl=ja#pricing> を参照ください。

*1: CDN インターコネクトサービスプロバイダ一覧については次の URL を参照ください

(<https://cloud.google.com/interconnect/docs/how-to/cdn-interconnect#providers>)

1.3.7. オペレーション使用量

バケットへ格納したデータのアクセスに対して料金が発生します。オペレーションについては、種類によって無料オペレーションと有償（クラス A およびクラス B）オペレーションに分類されます。

料金は、<https://cloud.google.com/storage/pricing?hl=JA#operations-pricing> を参照ください。

オペレーションの分類については、<https://cloud.google.com/storage/pricing?hl=JA#operations-by-class> を参照ください。

1.3.8. 取得および早期削除

Nearline、Coldline、Archive はアクセス頻度の低いデータを格納するためのストレージクラスです。データの取得とはこれらのクラスに格納されているデータやメタデータにアクセスする事を指し、データの移動とは別に追加コストがかかります。また、これらのストレージクラスのデータは保存期間に達する前にファイルを削除することはできませんが、ファイルが最小期間保存された場合と同じ金額が請求されます。上書きと移動も早期削除に含まれます。*1

料金の詳細は、<https://cloud.google.com/storage/pricing?hl=JA#archival-pricing> を参照ください。

*1: 詳細については Google Cloud Storage のドキュメントを参照ください。(https://cloud.google.com/storage/pricing)

*2: Nearline・Coldline・Archive に保存されているデータとメタデータにアクセスする際に取得コストが発生します。

*3: 最小保存期間に達する前にファイルを削除した場合、最小保存期間保存された場合と同様のコストが請求されます。

1.4. 提供範囲

本サービスは、IDCF クラウドすべてのリージョンやゾーンにおいて利用可能なグローバルサービスです。基盤として Google Cloud Storage サービスを利用しているため、データ格納拠点については Google Cloud Storage サービスに準じます。

サービス区分	対象サービス	提供地域	提供可否
--------	--------	------	------

クラウド	IDCF クラウド	Google Cloud Storage が提供するロケーション	利用可能
------	-----------	----------------------------------	------

2. サービス仕様

2.1. 本サービスの基本仕様は以下の通りですが、詳細は Google Cloud Storage のウェブサイトをご確認ください。

項目	内容
最低利用容量	なし
最大利用容量	なし
データ格納拠点	Google Cloud Storage に準じる ^{*1}
データの冗長性	Google Cloud Storage に準じる ^{*2}
データの耐久性	Google Cloud Storage に準じる(99.99999999%) ^{*2}
データの可用性	Google Cloud Storage に準じる(Multi-Regional:99.95%) ^{*2}
品質保証(SLA)	可用性に応じた品質保証(SLA)

*1: <https://cloud.google.com/storage/docs/bucket-locations/>

*2: <https://cloud.google.com/storage/features/>

2.2. ストレージ領域

本サービスでは、容量を柔軟に拡張可能なストレージ領域を提供します。ストレージ領域に関する主な仕様は以下の通りです。

項目	内容	
バケット	バケット名	<ul style="list-style-type: none"> バケット名に使用できる文字は、小文字、数字、ダッシュ(-)、下線(_)のみです ※ドット(.)は、本サービスではご利用できません バケット名の先頭と末尾は数字か文字でなければなりません バケット名の長さは、3～63 文字でなければなりません バケット名の先頭に接頭辞「goog」は使用できません バケット名に「google」または「google」の誤表記を含めることはできません その他詳細については以下 URL の記述に準じます (https://cloud.google.com/storage/docs/naming)
	バケット数	無制限
オブジェクト	オブジェクト名	<ul style="list-style-type: none"> オブジェクト名は Unicode 文字で任意に設定でき、UTF-8 エンコード時の長さが 1～1,024 バイトになるようにします。 オブジェクト名に、改行またはラインフィード文字を含めることはできません。 オブジェクト名の先頭に .well-known/acme-challenge は使用できません。 その他詳細については以下 URL を参照ください。 (https://cloud.google.com/storage/docs/naming)
	オブジェクトサイズ	5TB

	オブジェクト数	無制限
	ライフサイクル機能	保管期間やバージョン等で、オブジェクトのストレージクラスを変更、削除するルールを設定します。 https://cloud.google.com/storage/docs/lifecycle
	データ暗号化	データはディスクに書き込む前に暗号化されます。 https://cloud.google.com/storage/docs/encryption

2.3. ネットワーク接続

本サービスには、インターネット接続環境が含まれます。また、バケットへ格納したデータの移動を含めてネットワーク転送量として扱います。料金は月間のデータ転送量に応じた従量制の課金となります。詳細については「[1.3.5] 料金(ネットワーク)」を参照ください。

また、IDCF クラウドは Google Cloud Platform とダイレクト接続 (Peering) を行っているため、クラウドストレージのダウンロード料金は「CDN インターコネクト、Peer へのトラフィック」が適用される場合があります。

2.4. クラウドコンソール

コントロールパネルで提供される機能の一覧です。

項目	内容
Google アカウント発行 or 連携	Google アカウント発行/連携、サービスアカウント発行
マルチユーザー管理	マルチユーザー管理機能
バケット管理	ストレージクラスの選択/移動、バケットの作成/削除、バケット一覧の閲覧、ライフサイクル設定、バケットの公開設定、バケットのアクセス制御
オブジェクト管理	フォルダ作成、オブジェクトのアップロード/ダウンロード/削除、フォルダ/オブジェクト一覧の閲覧、オブジェクト名称の変更、メタデータ編集、オブジェクトの公開設定、オブジェクトのアクセス制御
サポート	FAQ サイト、チケット起票、その他 Google の提供するドキュメントサイト ^{*1}

*1: <https://cloud.google.com/storage/docs/>

2.5. API

本サービスでは Google が提供する API、互換性のある API、ツール等を利用し、コントロールパネルを使用せずに外部プログラムから柔軟にコントロールできます。仕様の詳細については以下をはじめとした Google のリファレンスサイトを参照ください。

API リファレンス : https://cloud.google.com/storage/docs/json_api/v1/

利用可能な API の一覧 : <https://cloud.google.com/storage/docs/apis>

2.6. 操作権限

クラウドコンソールから、以下の操作を行うことができます。役割によって、一定の操作制限が適用されます。

項目	マスターユーザー (Master User)	パワーユーザー (Power User)	ユーザー (User)	ビルディングユーザー (Billing User)
申込・連携	○	×	×	×

Google アカウント 追加・削除・変更*1	○	○	○	×
サービスアカウント 追加・削除・変更*1	○	×	×	×
バケット追加・削除・変更*2	○	○	○	×
オブジェクト 追加・削除・変更*2	○	○	○	×
ライフサイクル*2	○	○	○	×
メタデータ追加・削除・変更*2	○	○	○	×
ビルディング情報表示	○	×	×	○

*1: マスターユーザーは、パワーユーザー、ユーザー、サービスアカウントのアクセス権限を役割として付与し、管理します。

役割一覧: https://cloud.google.com/iam/docs/understanding-roles#cloud_storage_roles (レガシーを除く)

*2: バケットおよびオブジェクトの操作権限については付与された役割に依存します。

3. サービス保守運用

3.1. カスタマーサポート

お客さまからのお問い合わせは、すべて本サービスのポータルサイトから受け付けます。その他の手段（電話による口頭の依頼、メール、または FAX 等）によるご依頼は受け付けていません。ただし、プレミアムサポート(有償)をご契約の場合のみ、お電話でのサポートが可能となります。サポートの受付・対応時間は以下のとおりです。

項目	媒体	受付時間	対応時間
サービス お問い合わせ*1	オンラインサポート	24 時間 365 日	平日 9:00~17:00
	プレミアムサポート*3	平日 9:00~17:00	平日 9:00~17:00
	メール	受け付けていません	
障害連絡受付 および その対応*2	オンラインサポート	24 時間 365 日	24 時間 365 日*4
	プレミアムサポート*3	平日 9:00~17:00	平日 9:00~17:00
	メール	受け付けていません	

*1: サービスお問い合わせ対応時間は、土日・祝日、当社指定の休業日を除きます。

*2: 当社が障害を検知した場合は、指定された連絡先にメール、電話、当社所定のポータルサイトのいずれかで通知を行います。

*3: クラウドコンソールからプレミアムサポート（別途有償）をご契約いただくと、標準サポートに加え電話でのお問い合わせが可能になります。お客様の電話を受ける際に、アカウント毎に発行された PIN コードを用いて本人確認を行います。

*4: お客様に影響を及ぼさない事象と当社が判断した場合は、24 時間 365 日対応の対象外となります。

注) お問い合わせや障害連絡受付の応答時間および解決時間は、当該事象の Severity（深刻度）等に応じて異なります。また、当社は当該事象の解決のために商業的に妥当と思われる努力を行いますが、あらかじめ特定の時間内に完了することは保証しません。

3.2. 障害通知およびメンテナンス情報

本サービスに関する障害情報およびメンテナンス情報の通知に関しては、以下のとおりです。

カテゴリ	通知方法
------	------

障害情報	当社 IDCFC クラウドコンソール画面にてお知らせいたします。
メンテナンス情報	

4. 契約条件

4.1. サービスご利用条件

本サービスは、以下の契約書類に定めるご利用条件に従いお客様に提供されます。

契約名	契約書類
本サービス 利用契約	「クラウドサービスに関する契約約款」、「Google 連携に関する規約」、「サービス仕様書（本書）」、Service Specific Term (https://cloud.google.com/terms/service-terms)、当社が定めるその他の各種規程およびその他本サービスの申し込み画面に記載の内容（総称して「本サービス約款等」）にご同意いただくこと。

4.2. 契約の単位

1つのアカウントが契約可能なリソースについて、クラウドストレージ 1 契約とします。

アカウント毎に 1つのプロジェクト ID が発行されます。

4.3. 契約期間

本サービスの最低利用期間は以下のとおりです。

項目	詳細
契約期間	本サービスの利用契約は、期限の定めはなく、「4.4 解約」に従って本サービスの利用契約を終了させることができます。本サービスの最低利用期間はありません。

4.4. 解約

- お客様は、いつでも本サービスに係る当社所定のウェブサイトから本サービス利用契約を即時に解約することができます。
- 本サービスのみの利用契約を単体で解約することはできません。本サービスの利用契約を終了するには、会員契約の解約（アカウントの廃止）が必要です。本サービスの利用契約の解約は、「クラウドサービスに関する契約約款」の「クラウドサービスに関する会員規定」第 16 条に記載の方法により解約できます。
- 前項で IDCFC クラウドのアカウントが廃止された際、Google アカウントとの連携も同時に廃止され、当社の発行した Google アカウントも廃止されます。
- 解約後はサービスをご利用いただくことができませんのであらかじめご了承ください。

4.5. SLA（Service Level Agreement: 品質保証制度）

本サービスは、基盤に Google Cloud Storage を採用しております。そのため品質目標および品質保証制度についても、Google Cloud Storage サービスの仕様に準じて提供させていただきます。

4.5.1. 品質保証の対象

本サービスの品質保証制度は下記の範囲となります。

- クラウドストレージ基盤（Google Cloud Storage）の可用性

※当社クラウドコンソールの可用性については SLA の対象外となります。

4.5.2. 品質目標（SLO）

品質目標については月の稼働率で計算され、ストレージタイプ毎に設定されています。^{*1}

ストレージクラス	月間稼働率
Multi-Regional	>= 99.95%
Regional	>= 99.9%
Nearline	>= 99.0%
Coldline	>= 99.0%

*1: <https://cloud.google.com/storage/sla>

4.5.3. 品質保証（SLA）

本サービスの SLA については、ストレージクラス毎に設定されている SLA に応じて減額を行います。

SLA 認定については Google のテクニカルサポートの判断に従います。^{*1}

項目		月間稼働率		
ストレージクラス	Multi-Regional	99.0% - < 99.95%	95.0% - < 99.0%	< 95.0%
	Regional	99.0% - < 99.9%	95.0% - < 99.0%	< 95.0%
	Nearline	98.0% - < 99.0%	95.0% - < 98.0%	< 95.0%
	Coldline	98.0% - < 99.0%	95.0% - < 98.0%	< 95.0%
月額減額上限値		10%	25%	50%

*1: <https://cloud.google.com/storage/sla>

4.5.4. 返金の申請義務

SLA の権利発生から 25 日以内に当社に申告しなかった場合はその権利を失います。

4.6. 秘密情報・個人情報・パーソナルデータ

- お客様は、当社又は Google がお客様からお預かりする秘密情報を当社及び Google が本サービスを提供するために使用し、また、本サービスを提供するために当社が Google に開示することに同意するものとします。
- お客様は、当社又は Google がお客様からお預かりする個人情報及び EU 一般データ保護規則で定めるパーソナルデータを当社及び Google が本サービスを提供するために使用し、また、本サービスを提供するために当社が Google に開示することに同意するものとします。

4.7. ご利用上の制限および注意事項

「クラウドサービスに関する契約約款」及び Service Specific Term に定めるほか、本サービスに関して以下の制限事項および注意事項があります。

- お客様は、お客様、当社及び Google は、それぞれ独立した当事者であること、および、当社が Google のエージェント、パートナー、ジョイントベンチャーの関係にないことを了承するものとします。
- お客様は、本サービスが本質的に情報の喪失、改変、破壊等の危険が内在するサービスあることを理解したうえで、すべてのお客様データをお客様自らの責任において利用、保管管理するものとします。
- お客様は、当社がお客様の特定の目的への適合性及び本サービスにおけるデータの完全性について何ら保証しないことを了承するものとします。
- お客様は本サービスを利用するために必要な Google アカウント、パスワード、サービスアカウント、サービスアカウントキー、アクセスキー、シークレットキーについて、お客様の責任において管理するものとし、当社の責に帰すべき事由による場合を除き、当該アカウント及びキーが不正に使用され、当社、または第三者が被害を被った場合はお客さまがその責を負うものとします。また当該アカウント及びキーが漏洩したことが発覚した場合には、お客様はその旨を直ちに当社に通知するものとします。
- お客様は本サービスの利用に必要な端末機器等のハードウェア、OS、アプリケーション、インターネット接続回線等について、自らの責任と費用において準備するものとします。お客様の OS、アプリケーション等の不具合や脆弱性について、当社は一切の責任を負いません
- クラウドサービスに関する契約約款および諸規定に基づいて、本サービスの利用契約が解約された場合、当社又は Google は当該契約およびこれに含まれる蓄積データをお客様の承諾なく削除できるものとします。
- 本サービスの設備および Google Cloud Storage サービスのメンテナンス実施時に一時的にサービスを停止する場合があります。サービス停止を伴うメンテナンス実施が必要になった場合は、作業実施の 2 週間前までに当社より事前に通知いたします。ただし、緊急やむを得ない場合はこの限りではありません。
- お問い合わせや障害連絡受付の応答時間および解決時間は、当該事業の Severity（深刻度）等に応じて異なる場合があります。また当社は当該事業の解決のために商業的に妥当と思われる努力を行いますが、あらかじめ特定の時間内に完了することを保証するものではありません。
- Google Cloud Storage のサービス終了に伴い、サービスの継続が困難となる場合間前当社からお客様に対してその旨を通知します。通知から 60 日以内もしくは、Google Cloud Storage サービスのサポート終了日までのどちらか遅い期日までに、お客様に提供可能な代替サービスへの新規ご契約をいただくか、上記期日をもって契約解除とさせていただきます。契約を切り替える場合の新規導入費用が必要となり月額料金も変更となる場合があります。
- お客様は、適切な料金計算のため、Google がお客様の本サービスの利用状況に情報を確認することを了承するものとします。
- お客様は、核施設、空管その他生命維持に影響を与える施設等、本サービスの欠陥がある場合に個人が死に、傷害を負い、又は環境に影響を与える用途で本サービスを利用することができません。
- お客様は、本サービスに関して、EU 一般データ保護規則で定める処理者及び管理者に当社及び Google が該当する可能性があることを確認するものとします。
- お客様は、法令が許容する範囲で、当社によるお客様への本サービスのリセール・ディストリビュートに起因して生じる Google の責任（直接損害、間接損害、結果損害を含みます。）を当社が放棄することを確認するものとします。
- お客様は、Google が書面で合意した場合を除き、以下のことを行うことができません。 ; ①本サービスを複製し、修正し、

二次的著作物を製作し、リバースエンジニアリングし、デコンパイルし、翻訳し、ディスアセンブルし、その他本サービスの一部又は全部のソースコードを抽出すること。②料金の負担を回避する意図で、単一のアプリケーション、アカウント又はプロジェクトを装い又は振る舞うために、重複するアプリケーション、アカウント、プロジェクトを作成すること。③Service Specific Term で別に定める場合を除き、公衆電話交換回線網から電話をし、又は電話を受信するための電気通信事業又は関連するサービスをエンドユーザーに提供するため、本サービスを利用すること。④以下の用途で本サービスを利用すること。； (i) 米
国国務省が定める武器輸出管理法及び武器国際取引に関する規則（ITAR）に遵守するために、お客様又はエンドユーザーのデータを創造し、送信し、処理し、又は蓄積すること、(ii)本サービスを利用することが法的に禁止されている個人又は法人に本サービスを利用させること、又は(iii) 米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令で定義される Protected Health Information を送信し、蓄積し、又は処理すること。

- お客様は、Google 又は第三者のために複製が必要な場合を除き、直接に又は第三者を通じて、本サービスの比較又は適合性についてのテスト、ベンチマークテスト又は評価の結果を開示することができません。
- 当社は、天災地変、大量通信等不可抗力その他の非常事態が発生し、又は発生する虞があるときは、災害の予防若しくは救援、交通、通信若しくは電力の供給の確保、秩序の維持のために必要な事項を内容とする通信および公共の利益のために緊急を要する事項を内容とする通信を優先的に取り扱うため、本サービスの提供を制限し、又はこれを停止する措置を取ることがあります。

4.8. 免責事項

「クラウドサービスに関する契約約款」およびサービス申込み時に提示されるもののほか、本サービスに関して、以下の免責事項があります。

- 契約責任、不法行為責任その他法的責任の性質を問わず、当社は、予見の有無にかかわらず、本サービスに関連するお客様の売上げに関する損害、間接損害、特別損害、結果損害、懲罰的損害について責任を負わないものとします。
- 本サービスの利用により、お客様が登録したデータの改竄、削除、滅失、消去等により生じた損害およびお客様の逸失利益については、当社は一切その賠償責任を負わないものとします。
- サーバー上に設置されるお客様が作成したコンテンツ、プログラムの動作により生じた損害に対して、当社は一切その賠償責任を負わないものとします。
- 当社は、本サービスについて、お客様が意図する特定利用目的への適合性、有用性、確実性、完全性等に関し、いかなる保証責任も負わないものとします。
- 当社は、本サービスの利用によって生じたお客様または第三者の損害に対して、いかなる責任も負わないものとします。

4.9. 権利帰属

本サービスに関連する著作権、特許権その他の知的財産権は、当社が保有します。なお、本サービスのご利用にあたり、原始的にお客様が保有していた情報に関する権利は、お客様が保有します。

4.10. その他

- 本サービス仕様書の記載事項および本サービス仕様書に記載がない事項については、サービス約款およびサービス申込み時に提示される各条項および各規定が優先的に適用されます。